

あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま



# 広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2025

# 4

NO.872





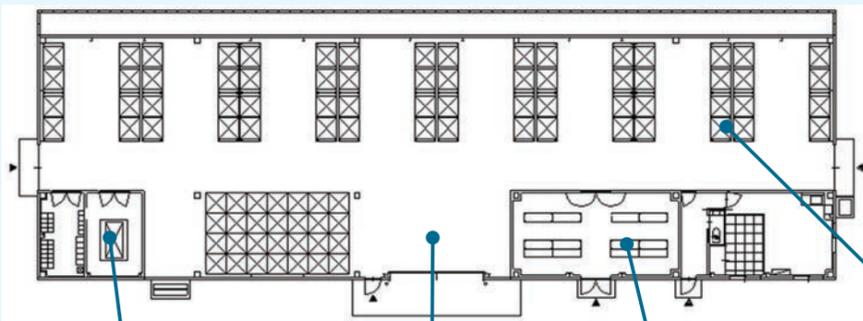
# 厚真町防災備蓄倉庫が できました！

所在地▶新町404番地  
敷地面積▶1,896㎡  
延床面積▶554㎡  
構造▶鉄骨・平屋建て



町は、胆振東部地震以降に災害備蓄品を旧富野小学校体育館に保管していましたが、新町に「厚真町防災備蓄倉庫」を新設し、災害備蓄品を移転しました。  
普段から災害備蓄品や、各種防災資機材を集中して保管しておき、災害時は物資輸送の拠点として運用します。

問い合わせ 総務課情報防災グループ (☎27-2481)



ガス発電機

トラックの乗り入れが可能な入り口

電気ヒーターで温度管理する非常用食品備蓄庫

備蓄品は物品ごとに管理

## 厚真町防災備蓄倉庫 内覧会

施設の概要や、防災備蓄品などについて説明します。

### ●開催場所

厚真町新町404番地  
厚真町防災備蓄倉庫内

### ●日時

4月20日(日) 10時~15時  
※時間内は随時見学可

### ●施設の概要説明会

・1回目：10時30分~11時  
・2回目：13時30分~14時  
※申し込み不要  
※駐車スペースに限りがあります。

# 広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2025

4

NO.872

## ひとのうごき

人口 4,208人 (-13)  
男 2,134人 女 2,074人

世帯数 2,095世帯 (-3)

3月31日現在 ( )内は前月比

- 2 ひとのうごき
- 3 厚真町防災備蓄倉庫ができました
- 4-6 町からのお知らせ
- 7 令和7年第1回定例会
- 8-9 まちの話題
- 10-11 地域おこし協力隊・地域活性化起業人活動報告会
- 12 厚高インフォ/よりみち通信
- 13 地域おこし協力隊町職員の人事異動
- 14-15 保健の掲示板
- 16 健康情報
- 17 子育て支援センター  
まちのアイドル/こぶしの湯あつま
- 18 防災のページ  
住宅用火災警報器を設置しましょう
- 19 情報ひろば
- 20 ATSUMA LOVERS

3月1日~3月31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

## 厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

## 広報あつまはインターネットでも！



厚真町ホームページ

トップページ下部のバナーから

広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



## COVER

## 今月の表紙



町内では、小・中・高校で卒業式が行われ、小学校40人、中学校32人、高校21人が学び舎を後にしました。上厚真小学校では、18人が真新しい制服を着て式典に臨み、見守る保護者たちに感謝の思いと今後の目標を力強く誓いました。

## 弁護士による無料法律相談会

総務課 総務人事グループ ☎ 27-2322

厚真町と安平町で、札幌弁護士会地域司法対策委員会による「無料法律相談会」を開催します。

開催日	開催場所	
	午前 10時30分～12時	午後 13時30分～15時
4月7日(月)	厚真	早来
4月21日(月)	追分	厚真
5月12日(月)	厚真	早来
5月26日(月)	早来	上厚真
6月9日(月)	厚真	追分
6月23日(月)	早来	厚真
7月7日(月)	厚真	早来
7月22日(火)	追分	上厚真
8月4日(月)	厚真	早来
8月18日(月)	早来	厚真
9月1日(月)	厚真	追分
9月16日(火)	早来	厚真
9月29日(月)	厚真	早来

### ○相談料は無料です

※実際に依頼する場合の弁護士費用は、相談弁護士にお問い合わせください。

### ○相談される場合は、事前に予約してください

※相談当日、直接会場にお越しいただいても、先約があつてお待ちいただく場合や受けられない場合もありますのでご了承ください。

### 会場

厚真▷総合福祉センター 談話室  
京町165-1

上厚真▷厚南会館 小会議室  
上厚真219-7

早来▷安平町保健センター  
安平町早来大町95

追分▷安平町ぬくもりセンター  
安平町追分中央1-40

## コミュニティ活動補助

コミュニティ運動推進協議会事務局 ☎ 27-3179  
(まちづくり推進課 企画調整グループ内)

地域文化の育成や環境美化活動に係る費用の一部を助成しています。

### 地域花壇づくり活動助成事業

▷他のモデルとなることが期待できる花壇の管理費を助成します。

**対象者** 自治会・町内の団体

**対象金額** 沿道の花壇施設費…面積が5㎡以上10㎡未満は1万5千円、10㎡以上は2万円  
花壇の管理費…1団体の上限7千円(予算の範囲内で助成)

**募集期間** 11月28日(金)まで

### フラワーマスター育成事業

▷フラワーマスター認定講習会受講に係る旅行費用等を支給します。

**対象者** 町民

**対象金額** 講習会受講旅費(実費分)

**募集期間** 11月28日(金)まで

### 空き缶拾い活動奨励事業

▷空き缶拾い活動に対して助成します。

**対象者** 団体(15人以上)

**対象金額** 年3千円以内

**募集期間** 11月28日(金)まで

### 個性的文化活動奨励事業

▷町内の団体、サークルなどが自主的・主体的に取り組む事業に対して補助します。

**対象者** 町民(10人以上)

**対象金額** 開放的で個性的な文化活動の初期投資経費として1回に限り上限3万円(予算の範囲内で助成)

**募集期間** 11月28日(金)まで

### 地域コミュニティ共助モデル形成事業

▷高齢者支援や防犯・防災対策等、地域住民どうしの共助活動により地域課題の解決を図る活動に対して補助します。

※詳しくはご相談ください。

## 国民健康保険料率が変わります

令和7年度の国民健康保険料率に変更になります。

令和6年度の資産割廃止に伴う保険料の減額分は、「所得割」の料率に上乗せして不足分を補うこととなりますが、厚真町では当分の間、上乗せ分に別途補てんを行うことで、急激な料率の上昇を防ぐ激変緩和措置を実施します。

区分	医療給付分		後期高齢者支援分		介護保険納付分 (40歳以上～64歳以下)	
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
所得割	7.58%	8.74%	2.54%	2.61%	1.84%	1.96%
均等割	31,922円	30,514円	10,754円	9,330円	12,323円	9,375円
平等割	37,732円	30,287円	12,711円	9,261円	10,554円	7,354円
限度額	650,000円	※660,000円	240,000円	※260,000円	170,000円	170,000円

※医療給付分、後期高齢者支援分の限度額は、国の法改正に伴い令和7年度から増額となります。

## 厚真町ふるさと納税返礼品の事業者募集

総務課 財政グループ ☎ 27-2481

厚真町の魅力PR等に協力いただける新規事業者を募集しています。

### 返礼品として登録できるもの

- ・町内で生産されているもの
- ・町内で加工品されているもの※
- ・町内で提供されるサービス

### ※加工品について

- ・町外事業者でも重量または調達費の割合で厚真町産の原材料が全体の5割以上のもの
- ・加工工程の5割以上が町内で行われているもの

### 問い合わせ先(ふるさと納税委託業者)

株式会社スチームシップ  
(エーゼログループ厚真町支社から変更になりました)  
☎050-8885-0494  
受付時間：月曜日～金曜日9時～17時

## 家畜排せつ物の適正管理をお願いします

産業経済課 農業グループ ☎ 27-2419

家畜排せつ物の適正管理に向けた取り組み強化期間

北海道畜産振興課や町は、家畜排せつ物の適正な管理と処理を呼びかけています。  
融雪水の処理施設への流入防止徹底が重点事項です。

### 【重点対策】

- ①土のうを積むか排水路を確保するなど施設への流入防止を図る
- ②農場外への流出防止対策を徹底する
- ③流出事故が発生した場合はすみやかに事故原因の解消を図り、関係機関に報告して対応等の指導を受ける
- ④大雨が予想される場合は、融雪期に準じた流出防止対策を徹底する



# 議会

## 令和7年第1回定例会

令和7年第1回町議会定例会が3月4日から12日までの9日間の会期で開かれました。審議されたのは、令和7年度各会計予算など議案18件、報告6件、承認1件で、いずれも原案どおり可決・承認されました。

### 議案

#### ◇令和7年度厚真町一般会計予算

令和7年度厚真町一般会計予算の総額は、143億5000万円となりました。前年度当初予算額と比べて33億円(29.9%)の増額です。

- ・子育て支援給付事業で新たに幼児育成プログラム給付金(432万円)：保育料還元を改め、未通園を含めたすべての生後6カ月から3歳に達した年度末までを対象に月額6千円分のポイントを給付。
- ・厚南会館整備事業(650万円)：上厚真市街地周辺の整備計画に伴い、用途および改修の方向性を明確にするため、改修に必要となる基本計画を策定。
- ・(仮称)アイヌ歴史文化センター整備事業(2096万円)：厚真町から出土したアイヌ文化を中心とする埋蔵文化財の価値を広く一般に展示公開するとともに、適切に保存と調査研究の拠点として、アイヌ歴史文化センターを整備。
- ・文化財等活用支援振興事業(520万円)：厚真町の文化財を活用・促進するために、文化財等活用支援として地域おこし協力隊に業務を委嘱し、生涯学習環境を整備。
- ・総合型地域スポーツクラブ創

設事業(115万2千円)：総合型地域スポーツクラブは、将来的に文化部を含めた中学生の部活動の受け皿となることを想定し、令和9年度を目標とする部活動地域展開を実現。

- ・厚真葬苑整備事業(2250万円)：火葬炉施設改修(再燃炉1炉耐火物交換)や屋上防水改修(雨漏り改善)。
- ・中間管理住宅整備事業(1572万円)：新たな空き家利活用対策の一環として、所有者から空き家を町が一定期間借り受け、町でリフォームを行い、資産価値を向上させ、中間管理住宅として希望者に貸借することで、移住・定住等の促進を図る。また、空き家の資産価値向上に伴い、空き家返還後の流通促進に寄与。
- ・表町防災空地整備事業(2250万円)：整備面積約2万㎡の防空空地の基本設計および実施設計委託業務。
- ・情報ネットワーク総合管理事業(1億6046万4千円)：国の基本方針に基づき、令和7年度末までに標準化システムに対応するための移行作業を実施。
- ・DX推進事業(4154万7千円)：各種証明書のコンビニ交付システム導入と日高幌内川地区のインターネット通

信確保による、えん堤監視ラ イブカメラ設置など実施。

- ・公共施設等総合管理計画策定事業(620万円)：厚真町公共施設等総合管理計画(平成28年4月から令和8年3月)の次期計画を策定。
- ・総合計画策定事業(1315万8千円)：「第4次厚真町総合計画改訂版」の計画期間が令和7年度で終了するため、令和8年度以降の厚真町のまちづくりの指針となる新たな総合計画を策定。
- ・災害復興推進事業(1875万9千円)：地域や個別の課題解決に向けて、各種復興事業を推進。

#### ◇令和6年度厚真町一般会計補正予算(第18号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億4671万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ124億1032万1千円となりました。

### 報告

- ◇専決処分の報告(町道軽舞豊丘線官光橋架替工事(下部工)請負契約の変更)
- ◇専決処分の報告(令和6年度町道幌内左岸線道路改良舗装工事請負契約の変更)
- ◇専決処分の報告(町道表町ハイパス線道路改良舗装工事請負

### 承認

◇専決処分の承認  
令和6年度厚真町一般会計補正予算(第17号)の承認

### 一般質問

折坂泰宏議員、橋本豊議員、伊藤富志夫議員、寺坂康生議員、澤口千里議員、菅原文子議員の6人が一般質問に立ちました。

折坂議員はRTK電波へき地の解消とラーケーション(ラーニングとバケーションの造語)制度の導入について、橋本議員は学校給食と自主防災組織の設立や活動について、伊藤議員は介護保険と風力発電について、寺坂議員は今後の子育て支援策について、澤口議員は教育行政とジェンダー平等を町政に活かす方策について、菅原議員は道路維持管理と関係人口の増加対策について、それぞれ質問しました。

## 安全運転後付け装置 ペダル踏み間違い支援装置整備費補助

住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

高齢運転者に安全運転後付け装置ペダル踏み間違い支援装置整備費の一部を補助します。

#### 対象者

次の要件をすべて満たす個人の方

- ・町内に住所のある満70歳以上の方
- ・自動車運転免許証を保有している方
- ・町税等を滞納していない方

#### 補助対象経費

後付けペダル踏み間違い急発進等抑制装置の整備費用  
※自ら使用する自己(個人)所有の車両  
※各年度4月1日以降に後付け装置を整備した車両

#### 補助金額

上限3万円  
※1人につき1台(回)限り

## 高齢者大学新入生募集

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872  
(総合ケアセンターゆくり内)

高齢者が自ら社会参加し、知識と教養を高めながら、生きがいをつくる「高齢者大学」を開校します。

#### 期間

令和7年5月～令和8年3月までの全11回(予定)

#### 場所

総合福祉センター ほか

#### 会費

無料

#### 受講資格

町内に居住する65歳以上の方、老人クラブ加入者  
※申し込みが必要です

#### 講座内容

高齢者福祉に関することやレクリエーションなど

## 厚真町在宅高齢者介護休養手当金

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872  
(総合ケアセンターゆくり内)

要介護者を介護しているご家族に、日ごろの労をねぎらうため在宅高齢者介護休養手当金を支給します。

#### 支給対象者

以下の要件の全てを満たす方

- ・要介護3以上の認定を受けた家族を自宅で介護している方
- ・令和6年10月1日から令和7年3月31日までの間、町内に住所を有し、現に要介護者と同居している方
- ・無報酬で介護されている方

#### 支給額

月額1万円

#### 申請方法

申請書類を4月25日(金)までに提出

## ゴールデンウィークの ごみ収集・搬入

4月30日(水)・5月3日(土)～6日(火)

上記期間は、ごみ収集をお休みします  
※自己搬入の受け付けも行いません。

なお、5月は土曜日の開場日が変わりますのでご注意ください。  
5月の土曜日開場日…10日(土)・24日(土) ※3日(土)、17日(土)、31日(土)はお休み



町は3月13日、総合福祉センターで令和6年度のゲートキーパー養成講座を開き、30人が受講しました。

ゲートキーパーは、自殺対策として国内外で普及しているもので、こころの不調を抱えている人の変化に気づき、話を聞いて支援先につなげ、温かく見守るという4つの役割が期待される“命の門番”です。今回は北海道大学病院精神科医の成田尚さんが、「気づき」を中心にこころの状態やケアの方法などについて解説しました。

成田さんは「うつ症状は多種多様にわたるため難しいけれど、睡眠時間が一つの目安になります」と話し、「相手の気持ちに寄り添い安心してもらうことが大切で、ポジティブな考え方がうつ症状の軽減につながります」と説明。町担当者は「皆さんの力もお借りしながら、今後もこころの健康を促したい」と語りました。

### ゲートキーパー養成講座を開催



「気づき」などについて説明する成田さん



高玉資源循環課長から表彰を受けた宮坂町長と町職員

### 能登半島地震の支援で環境省が町と派遣職員に感謝状

環境省は3月17日、能登半島地震の被災地で積極的な支援活動を行ったとして町と派遣された職員に感謝状を贈呈しました。

町は、災害廃棄物処理支援員制度(人材バンク)を活用して、能登半島地震で被災した能登町へ職員1人を派遣。8日間にわたって公費解体の申請受付やマネジメント支援を行いました。環境省の高玉資源循環課長から賞状を受け取った宮坂町長は「胆振東部地震の経験を生かし、今後も被災地での業務支援に協力したい」と語りました。

町は3月18日、総合ケアセンターで6人のお子さんに新生児誕生を記念した君の椅子を贈呈しました。

平成18年にスタートした君の椅子プロジェクトは現在、道内10町村と福島県・葛尾村の11自治体が参加しています。椅子のデザインは毎年更新されていて、座面の裏側には名前や誕生日、シリアルナンバーが刻まれています。町は延べ165人に君の椅子を贈呈し、今回は、町の木の「こぶし」を使って町内の木工家が制作したおしゃぶりにも使えるおもちゃ「森の輪」も贈りました。

贈呈式に6家族が出席し、宮坂町長が一人ひとりの名前を読み上げて「この椅子が、お子さんたちの居場所であることを、伝えてあげてください。生まれてきてくれてありがとう」と祝福しました。

### 6人に君の椅子を贈呈



君の椅子に座って記念写真を撮影する皆さん



表彰状の伝達を受けた村井広昭さん

### 村井広昭さん(上厚真)に北海道社会貢献賞伝達

鳥獣保護などの監視活動に尽力している村井広昭さんに2月26日、胆振総合振興局の関俊一局長から北海道社会貢献賞(自然保護関係功労)が伝達されました。

村井さんは、平成16年から20年間にわたり鳥獣保護監視員および自然保護監視員として町内でパトロールを続け、鳥獣保護区等の維持・管理に尽力しています。また、狩猟期間中には、取り締まりのほか野生鳥獣の保護、自然保護の啓発活動などに加え、狩猟者への安全指導やヒグマ出没への注意喚起も続けています。村井さんは「時間が経つのが早いですね。受賞を大変ありがたく思います」と喜びました。

### 第3回厚真町津波防災地域づくり推進協議会を開催

令和6年度の第3回津波防災地域づくり推進協議会が2月27日に厚南会館で開かれ、委員14人など総勢29人が津波防災住民懇談会の報告を受け、昨年度策定した厚真町津波防災地域づくり推進計画の改訂などについて協議しました。

会議は、東北学院大准教授の定池祐季会長が進行しました。住民懇談会の報告では、自治会から「最近、津波に対する警戒感が薄れているため、すぐに避難できるように啓発が必要」や「高規格道路の避難場所では、防寒・低体温症対策、トイレも必要」などの意見があり、事務局が関係機関に相談・調整していることを報告しました。

また、事務局から新年度からは津波避難施設を着工し、避難誘導看板や野原公園の屋外拡声器を設置することも紹介されました。



活発に意見が交わされた津波防災地域づくり推進協議会



式典であいさつする町土地改良区の細川隆雄理事長

### 国営かんがい排水事業「勇払東部地区」の完了慰労会開催

北海道開発局室蘭開発建設部が行っていた国営かんがい排水事業「勇払東部地区」の完了慰労会が3月1日に町総合福祉センターで開かれ、関係者約80人が参加しました。

本事業は、用水施設の新設をはじめ排水施設の改修により農地の湛水被害等の解消を図るとともに、農業生産性の向上と農業経営の安定化を目的に整備されました。

受益面積は、厚真町・むかわ町にかかる3244㌥で、第1期工事(平成13年度～平成21年度)で頭首工1カ所と揚水機1カ所をそれぞれ新設、第2期工事では厚真ダム1カ所の改修工事と揚水機1カ所を新設しました。また、1期・2期通じて用水路82.1kmと排水路8.8kmを整備しました。総事業費は約547億円です。



# 地域おこし協力隊 地域活性化起業人 活動報告会

まちづくり推進課政策推進グループ ☎27-3179

町内での起業や新規就農などに挑んでいる令和6年度地域おこし協力隊・地域活性化起業人の活動報告会が3月6日と7日の2日間開かれ、これまでの取り組みなどを説明しました。初日の活動報告会に続き、2日目は、「フアンミーティング型」形式で行われ、食

品などの試作品を提供しながら、アットホームな雰囲気の中で12人が説明しました。地域住民との関わりも強く、説明が終わるたびに活動を応援する町民から「厚真に来てくれてありがとう。頑張ってください」とエールが贈られました。

町内で起業を目指す

## 起業型

地域おこし協力隊

- ペロン珠穂さん 和光大さん
- 大矢仁さん 近藤一郎さん
- 矢代祐也さん 上村陽介さん
- 中島洋一さん 満田光さん
- 福澤翔太さん 山下裕由さん
- 三木奈津美さん
- 矢代友香さん(町民参加)



高校魅力化プロジェクトについて説明する山中さん

3年間かけて実施してきた「高校魅力化プロジェクト」について説明し、町内から進学者が増えていることや地域と密接に関わった総合的な探求の時間など、成果を披露しました。

厚真高校の魅力を高めて  
すてきな高校生活に

## 教育魅力化 支援員

- 川嶋圭さん 山中卓也さん



上村さんは実施したモニターツアーについて報告しました

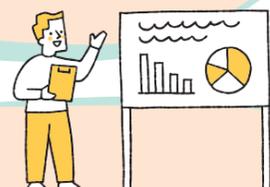


また、ローカルベンチャースクールに参加し、起業化を目指す町民参加者は、羊の飼育を紹介。廃材を利用した手作りの飼育舎づくりや飼育にあたっての苦労話などを伝え、町民の協力で順調に事業が進んでいることを発表しました。

研修について説明する高本さん



主に、担い手研修農場での活動を紹介します。ほうれん草やイチゴ、ブロッコリー、カボチャなどの栽培方法や営農知識などを習熟。また、農家での研修や町内各種イベントに参加して地域住民と親交を深めている状況などを報告しました。3年目の協力隊のうち1人は、来年4月の新規就農を目標に1年間の農家研修を受け、ニンニクの栽培に励むことを報告しました。



都市部の企業に属しながら地域の活性化につながる事業を企画・実現する

## 地域活性化起業人

- 軍司美和さん 濱田真基子さん
- 福井遼さん 聲山創一さん
- 岡村充泰さん

デジタル園芸施設などカーボンニュートラルの実現、関係人口創出のための体験プログラムの構築、行政職員などの人材育成、郵便局での一部行政手続き業務の実現、二地域居住政策の立案など、町の活性化策について紹介しました。いずれの発表者も人を含めた厚真の魅力情報の発信の工夫を唱えました。



生ハムの試食を行う西田さん

アウトドアガイドや民泊事業、塾講師、飲食店運営とマルチシエなどのイベント企画、親しみやすい林業での活動など人のつながりを大切にしたい事業の拡充、木質バイオマス発電や地域に根差したコンビニエンスストアの営業、野菜や果実の6次産業化の取り組みなどについて報告しました。また、本場イタリア仕込みの生ハムやサラミの試食も行われました。

町内の事業者と共に新規事業の創出や自立化を目指す

## 協働型

地域おこし協力隊

- 島崎貴裕さん 西田浩隆さん
- 三川璃子さん 今廣佐和子さん
- 佐藤司さん 藤田千愛さん
- 市原裕司さん 神垣明菜さん
- 渡部真子さん



町内で新規就農を目指す

## 農業支援員

- 畑山貴英さん 中野佑一さん
- 高本幸将さん 丸山亮太さん
- 佐々木賢一さん 渡辺和弥さん



リモートで発表する軍司さん

活動報告会の様子は町公式ホームページでご覧いただけます。  
(令和6年度は1日目の様子のみ)

地域おこし協力隊活動報告会のページ





■第3回学校運営協議会(2月28日)

令和6年度第3回学校運営協議会を開催しました。今年度最後の学校運営協議会に当たり、佐瀬校長が昨年度に改訂したスクールポリシーの検証や厚真高校が目指す「5つの力」について説明。地域・教育魅力化

コーディネーター(仮称)の設置や教職員と連携しているT・I・B・A・S・E遠隔授業(書道)の学習支援員、総合的な探究に向けた取り組み、3年生の成果発表会について報告しました。

■令和6年度同窓会入会式(2月28日)

体育館で同窓会入会式を行いました。卒業予定者21人が参加し、同窓会活動などを通じて今後も連絡を取り合い助け合うことを確認しました。同窓生代表の兼本洗楚さんと中島愛梨さんが紹介され、卒業予定者から盛大な拍手を受けました。

■第46回卒業式(3月1日)

本校体育館で、第46回卒業式を挙行しました。卒業生21人が入場し、佐瀬校長が一人ひとりに卒業証書を授与し、加藤迅さんが「栗林育英学術財団研鑽褒賞」を受賞しました。

佐瀬校長は3年間を振り返りながら今後の人生に向けて激励の言葉をかけ、来賓の厚真町教育委員会の遠藤秀明教育長より、祝辞をいただきました。また、現生徒会長の関口圭斗さんが送辞を述べ、前生徒会長の平目功希さんが感動的な挨拶をされました。PTAからは印鑑、同窓会から卒業証書ホルダーをいただき、多くの祝文や祝電が、パネルで紹介されました。

■令和7年度入学者選抜(3月4日~5日)

学力検査と個人面接検査を実施しました。受験生は、1校時から5校時まで、真剣な面持ちで問題と向き合いました。合格発表は3月17日(月)で、第2次募集があります。受験生の皆さん、保護者の皆さま、お疲れさまでした。入学式での再会が楽しみです。

■令和7年度人事異動

【転入】(4月1日付)  
 校長 佐藤公人(石狩南高校より)  
 事務局長 上井弘人(恵庭南高校より)  
 教諭 外崎正佳(苫小牧東高校より)  
 【転出】(3月31日付)  
 校長 佐瀬雅彦(役職定年、伊達開来高校へ)  
 教諭 佐藤史悠(中標津農業高校へ)  
 【退職】(3月31日付)  
 事務局長 杉原千寿



# 地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します!

現在活動している協力隊(3月末現在)

農業▷10人 教育魅力化▷3人  
 起業型▷9人 協働型▷8人

教育魅力化支援員

やまなか たくや  
**山中 卓也さん**

着任:令和4年4月(3年目)  
 出身:旭川市



—教育魅力化支援員に応募したきっかけを教えてください。

大学を卒業後、ワーキングホリデーを利用してオーストラリアへ行き、帰国後は北海道内の高校や中学校で教員として11年間勤務しました。その後、JICAの青年海外協力隊員としてウズベキスタンへ行きました。

コロナ禍の影響で4カ月後に帰国し、自分のやりたい事を模索する中、学校の教員ではできない子どもたちとの関わり方をしてきたことに気づきました。その時、厚真町が放課後の公営塾スタッフを募集しているのを知り、応募しました。

—3年間どのようなことをしてきましたか?感想や特に印象に残っていることは?

厚真町公営塾「よりみち学舎」のスタッフとして、放課後の厚高生の学習指導や生徒たちが興味・関心のあることを一緒にやってきました。最も印象に残っているのは、「アースデイ」という町内のイベントです。町内の

高校生と一緒に出店しました。周囲には自分のやりたい事を仕事にして出店している方がいて、その大人たちの姿を見た高校生が「厚真じゃないみたい」と感想をもらったことがとても印象に残っています。

—3年間の活動で、見えてきた変化はありますか?

厚高生がこれまで以上に高校生活を楽しく過ごしている姿が見られるようになりました。放課後のみならず、学校生活も楽しんでます。先生方が生徒の個性を尊重したうえで厚高生と接してくれているお陰だと思います。地域との関わりも成長に結びついています。

—今後の活動予定と目標を教えてください。

教育魅力化支援員は終了しますが、引き続き町内で子どもも大人も自由に遊べる場所「プレーパーク」の開催を計画しています。遊びだけではなく、体験活動を通じた学びの場づくりに挑戦する予定です。地域の人々と協力して、畑で農作物をつくり、収穫、そして料理をする場所を提供したいと思っています。「プレーパーク」の持続可能な運営、そして新たな学び場づくりを目指していきます。みなさんにご協力をお願いすることもあると思います。これからもよろしくお願いします。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報はじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



地域と共に

よりみち学舎は、この4月で4年目を迎えます。活動の多くは、地域のご理解とご協力に支えられました。寄稿にあたり、これまでの3年間で特に印象に残っている厚高生の活動を紹介します。

## よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

①おにぎりプロジェクト

「おにぎりの写真を投稿すると、開発途上国の子どもたちの給食を支援できる」というおにぎりプログラムに参加しました。厚高生がオリジナルおにぎりを考案し、ベリーモッチさんにメニュー化してもらい販売しました。おにぎり購入の際には、写真の投稿にも協力してもらいました。



厚高生が考案したのりのりおにぎり

②田舎まつりゲームブース

2年続けて出店した田舎まつりのゲームブース。厚高生が自ら内容を考え、手作り看板を制作して運営にも従事しました。子どもから大人まで、一緒に楽しめる空間を提供することができました。

③餅つき

年末、町内のご家庭で行われた餅つきに厚高生も参加。私も含め、初めての餅つきに要領をつかむのに大変でしたが、慣れるうちに音楽に合わせてノリノリになって餅がつけるようになりました。気持ちを込めた、つきたての餅は絶品でした。

このほかにも、地域での厚高生との思い出はたくさんあります。4年目のよりみち学舎は、「厚真町全体がよりみち学舎」と言えるように地域の方と共に、厚真町を楽しんでいきたいと考えています。応援とご協力をよろしくお願いいたします。

教育魅力化支援員 山中卓也

## 町職員の人事異動

( )内は主務、( )内は前職、(兼)は兼務

### 厚真町人事

◆異動(4月1日付)

- ・地方創生担当理事・まちづくり推進課政策推進担当(兼)・土地開発公社(兼)(任期付)▼大坪秀幸(地方創生担当理事・まちづくり推進課政策推進担当理事・土地開発公社(兼))
- ・産業経済課農業担当理事・農業委員会事務局(兼)▼大垣貴弘(産業経済課主幹農業グループ)
- ・産業経済課主査(農業グループ)▼岡橋篤志(産業経済課主任農業グループ)
- ・建設課主査(上下水道グループ)▼中田恭平(建設課主任上下水道グループ)
- ・住民課主任(福祉グループ)▼中山亮(住民課主任税務グループ)
- ・住民課主事(税務グループ)▼飯岡高基(建設課主事上下水道グループ)
- ・住民課主事(子育て支援グループ)▼渡邊咲羅(生涯学習課主事社会教育グループ)
- ・総務課主任(情報防災グループ)

### 教育委員会人事

◆新規採用

- ・生涯学習課主任(社会教育グループ)▼高田華凜

◆退職(3月31日付)

- ▼中村信宏(産業経済課農業担当理事・農業委員会事務局(兼))
- ▼起田淳(総務課情報防災グループ主幹)
- ▼山方隆寛(産業経済課林業・森林再生推進グループ主査)※林野庁から派遣
- ▼鈴木瑠晟(建設課土木グループ主事)※道から派遣



## こどもの予防接種

接種日	未就学児	水曜日	14時～15時(この時間は一般診療休み)	予防接種専用サイト 
	小学生～19歳	月・金曜日	9時～12時、14時～17時	
予約/受付接種場所	あつまクリニック ☎27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です(予約受付時間:9時～12時、15時～17時)			
持ち物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ(保健師)までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス(1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ(※1)	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15カ月未満(初回後60日以上あけて1回)
四種混合(※1) (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後2～90カ月未満	(初回)生後2～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加)初回後12～18カ月あけて1回
五種混合(※2) (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ)	生後2～90カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満に、20～56日あけて3回 (追加)初回6～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期)生後12～24カ月まで (2期)年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘(水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ(任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期)生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期)9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳:6～28日あけて2回 (1期追加)4歳:1期初回終了後約1年あけて1回 (2期)9歳:1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (9価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生(6カ月あけて2回) ※1回目の接種が15歳を超えた場合は3回 (2カ月以上あけて2回接種した後、1回目から6カ月以上あけて1回)

(※1) 令和6年3月31日までに接種を開始している方は、同じワクチンで接種を終えてください。  
【重要】四種混合ワクチンの生産終了の決定に伴い、接種可能期間はワクチンの在庫がある間までとなりました。四種混合の計4回接種が完了していない方は、5月末までに接種してください。接種が難しい方は、必ず健康推進グループまでご相談ください。  
(※2) 令和6年4月1日から新たに接種を開始する方は、五種混合ワクチンが適用されます。(ヒブおよび四種混合は対象外)



## 保健の掲示板 5月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)



### 健診・検診・相談・教室など

#### 乳児健診

対象 ①令和6年11月27日～令和7年2月21日生まれ  
②令和6年5月27日～令和6年8月21日生まれ  
※個別にご案内します。

とき 5月21日(水)

ところ 総合ケアセンターゆくり

持ち物 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、歯ブラシ(②のみ)

#### ①1歳6カ月児健診 ②3歳児健診

対象 ①令和5年9月20日～令和5年11月28日生まれ  
②令和4年3月20日～令和4年5月28日生まれ  
※個別にご案内します。

とき 5月28日(水)

ところ 総合ケアセンターゆくり

持ち物 母子健康手帳、歯の健康ノート、バスタオル、歯ブラシ、アンケート、早朝尿(②のみ)

### こころの相談

心身ともに、こんな変化はありませんか？

- ・眠れない
- ・人の視線が気になる
- ・人に会いたくない
- ・以前よりイライラする
- ・何事にも集中できない
- ・日常生活に支障が出るほどお酒を飲む など



ストレスなどからくるこころの危険信号かもしれません。臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に応じます。一人で抱え込まずに、ぜひご相談ください。

とき 4月18日(金)、5月16日(金)  
10時～15時(1人あたり50分程度)

ところ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までに健康推進グループにお申し込みください。

### 保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相談・検査の名称	日程
女性の健康相談 妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	第1木曜日 ※休日の場合は第2木曜日
肝炎ウイルス検査・梅毒検査 感染が疑われる方は無料(要事前確認)	月2回
骨髄バンク登録 登録の基準があります	要事前予約(随時受付)
HTLV-1抗体検査 10日前までに予約してください	要事前予約(随時受付)
HIV検査(エイズ相談) 無料、匿名検査(要事前確認)	月2回

エイズ専用電話☎0144-35-7474

### 5月の夜間・日曜・祝日の医療機関

#### 内科・小児科系

苫小牧市夜間休日急病センター  
住所 苫小牧市旭町2-9-2  
電話 0144-32-0099  
平日 19時～翌朝7時  
診療時間 土曜日 14時～翌朝7時  
日曜祝日 9時～翌朝7時

#### 外科系

診療時間: 9時～17時

日程	病院名	住所(苫小牧市)	電話(0144)
3日(土祝)	ハート整形ペインクリニック	三光町2-5-3	38-7000
4日(日)	にっしん泌尿器科クリニック	日新町2-6-43	71-1100
5日(月祝)	苫小牧東部脳神経外科	北宋町2-27-27	53-5000
6日(火祝)	アーク整形外科クリニック	ときわ町3-15-34	68-6111
11日(日)	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
18日(日)	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
25日(日)	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151

※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。



#### 北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます

http://www.qq.pref.hokkaido.jp ☎0120-20-8699 ☎011-221-8699(携帯・PHSから)

# 子育て支援センター 5月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみに併設)  
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)  
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

## 子育て講座 ベビーエクササイズ

内容：赤ちゃんを抱きながら楽しめるエクササイズです

日時：5月13日(火)10時～11時  
場所：厚真子育て支援センター  
申し込み：前日まで

## 子育て講座 親子ふれあい体操

内容：子どもと触れ合いながら楽しくわらべ唄や体操をします

日時：5月20日(火)10時～11時  
場所：厚南子育て支援センター  
申し込み：前日まで

Hello えいご・えいごであそぼう  
10時～10時30分

ALTの先生と遊びを通じて英語に触れることができます。開催日は情報誌をご覧ください。各センターにお問い合わせください。

- ・自由開放
- ・子育て相談(※要事前連絡)…月曜～金曜日 9時～12時、13時～15時
- ・サークル活動(※予約制)…月曜～金曜日 13時～15時

# まちの アイドル

3歳のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。

〈メール〉 kikaku@town.atsuma.lg.jp



ふじもと れんとさん



きむら しゅうとさん

# こぶしの湯あつま イベントカレンダー 5月

問い合わせ  
こぶしの湯あつま  
☎26-7126

日	月	火	水	木	金	土
				1 [2倍] レディース	2 [3倍]	3
4	5	6 [3倍]	7	8	9	10
ちびっこ	シルバー	メンズ	高齢者券	レディース		
11	12 [3倍]	13	14	15 [2倍]	16 [3倍]	17
ちびっこ		メンズ	高齢者券	レディース		
18	19	20	21	22 [3倍]	23 [2倍]	24
ちびっこ	シルバー	メンズ	高齢者券	レディース		
25	26 [3倍]	27	28	29	30 [2倍]	31
ちびっこ	風呂の日	メンズ	高齢者券	レディース	町民の日	

- 毎週日曜 ちびっこデー▷小学生はスタンプ2個
  - 毎週月曜 シルバーデー▷65歳以上はポイント3倍
  - 毎週火曜 メンズデー▷男性はスタンプ2個
  - 毎週水曜 高齢者無料入浴券の日▷町交付の無料券利用でレストランのヘルシーセットが790円→600円
  - 毎週木曜 レディースデー▷女性はスタンプ2個
  - 最終金曜 町民の日▷誕生月の町民はレストラン利用で入浴無料
  - 毎月26日 風呂の日▷町民は入浴無料  
町内在住が確認できる身分証明書等の提示が必要  
※対象外の方はポイント3倍、スタンプ2個
  - 2と6のつく日▷ポイント3倍
  - 5のつく日▷町交付の無料券利用でポイント5倍
- ※イベントは予告なく変更することがあります。

○朝風呂営業中！6時～7時30分(7時50分閉館)

# 健康情報

住民課 健康推進グループ ☎26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)



担当

保健師 笹森あゆみ

今月のテーマ

## 帯状疱疹ワクチンの 定期接種がはじまります



令和7年度から、65歳の方などへの帯状疱疹ワクチン接種が、予防接種法に基づき定期接種の対象になります。帯状疱疹ワクチンによって、帯状疱疹やその合併症を予防することができ、定期接種の対象者は年度によって異なるため、接種を希望される場合は、接種の機会を逃さないようご注意ください。

**帯状疱疹は痛みを伴う皮膚の病気です**

帯状疱疹は、過去に水痘(水ぼうそう)にかかった時に体の中に潜伏した水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化し、体の左右どちらかの神経に沿って、時に痛みを伴う水疱(水ぶくれ)が帯状に出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

70歳代で発症する方が最も多く、過労やストレスなどで免疫力が低下すると発症します。

**予防と治療**

予防するには、できるだけ健康的な生活習慣を保つことが大切です。食事のバランスに気をつけ、適度な運動と十分な睡眠を心がけましょう。さらに、50歳以上の方については、ワクチンを接種することで、発症予防や重症化予防が期待できます。一方で、帯状疱疹は70歳以上で発症する方が多く、ワクチンの有効性が経時的に一定程度減衰することを考慮して定期接種の対象者は定められていますので、64歳以下の方が接種を希望される場合は主治医等と相談することを勧めます。

帯状疱疹の治療の中心は、ウイルスの増殖を抑える抗ウイルス薬による投薬治療です。より早期の投与が効果的といわれていますので、かゆみや痛みあとの水疱が出現したりしたときは、できるだけ早く受診しましょう。

## 帯状疱疹ワクチンについて

接種開始時期や接種方法等の詳細なお知らせは、4月25日に全戸配布を予定しています。

### 定期接種対象者

- 令和7年度内に65歳となる方
- 令和7年度内に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方(令和7年度～11年度までの5年間の経過措置)
- 100歳以上の方(令和7年度のみ対象)
- 60歳～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方(身障1級相当)

### ワクチンの種類・費用(定期接種として接種委託医療機関で接種する場合)

帯状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や回数、接種条件や接種効果などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

ワクチン名称	組換え(不活化)ワクチン	生ワクチン
製造メーカー	GSK	阪大微研
接種方法	筋肉内に注射	皮下に注射
接種回数	2回 (接種間隔…2カ月以上※)	1回
接種条件	免疫の状態に関わらず接種可能	病気や治療で免疫が低下している方は接種不可
接種費用	10,000円/回	5,000円
接種効果(接種後)	1年時点	9割以上
	5年時点	9割程度
	10年時点	7割程度

※病気や治療により、免疫機能が低下または低下する可能性がある方などは、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1カ月まで短縮できます。

# 情報ひろば

**国税の振替口座**  
令和6年分の申告所得税および復興特別所得税の振替日は4月23日(水)、消費税および地方消費税の振替日は4月30日(水)です。  
振替日の前日までに預貯金残高をご確認いただき、納税資金のご準備をお願いいたします。

**問い合わせ**  
苫小牧税務署 (☎0144-32-3165)

**令和7年度調理師試験**

**試験日時**  
8月28日(木) 13時30分～16時

**試験場所**  
苫小牧市

**受験資格**  
高等学校入学資格を有する方で、2年以上調理の業務に従事した方(雇用状況により、受験資格の要件が異なる場合もありますので、ご確認ください。)

**受付期間**  
5月7日(水)～16日(金)まで

**受験手数料**  
6900円相当の北海道収入証紙

**願書配布・提出・問い合わせ**  
北海道苫小牧保健所企画総務課 企画係 (☎0144-77-9933)

## 運転免許証更新講習

5月



苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新講習(優良)の日程をお知らせします。この他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

### 【10時30分～11時】

2日(金)、7日(水)、9日(金)、13日(火)  
16日(金)、19日(月)、21日(水)、22日(木)  
26日(月)、27日(火)、30日(金)

### 【13時30分～14時】

1日(木)、8日(木)、12日(月)、23日(金)

### 【15時～15時30分】

1日(木)、8日(木)、12日(月)

(一社)苫小牧地区交通安全協会  
☎0144-33-1458

## まちの善意



### 社会福祉協議会への寄付

## 自衛官募集

問い合わせ  
自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所 ☎0144-32-3725

### ■一般曹候補生(第1回試験)

応募資格▶18歳以上33歳未満(32歳は要連絡)  
受付期間▶5月7日(水)まで(締切日必着)  
試験日程▶5月17日(土)～25日(日)のいずれか1日  
試験科目▶筆記試験(国語・数学・英語・作文・適性検査)

### ■自衛官候補生

応募資格▶18歳以上33歳未満(32歳は要連絡)  
受付期間▶5月7日(水)まで(締切必着)  
試験日程▶5月23日(金)～25日(日)のいずれか1日  
試験科目▶筆記試験(国語・数学・社会・作文・適正検査)、口述試験、身体検査

### ■幹部候補曹

応募資格▶20歳以上33歳未満(32歳は要連絡)  
受付期間▶4月23日(水)～6月6日(金)(締切必着)  
試験日程▶6月14日(土) 試験科目▶筆記試験

### ■一般幹部候補生

応募資格▶[大学卒業程度試験]22歳以上26歳未満(20歳以上22歳未満は大卒(見込み含む)、修士課程修了者等(見込み含む)は28歳未満  
[院卒者試験]20歳以上28歳未満の修士課程修了者等(見込み含む)  
受付期間▶4月23日(水)～6月6日(金)まで(締切日必着)  
試験日程▶6月14日(土) 試験科目▶筆記試験

### ■技術曹

応募資格▶20歳以上で国家免許資格取得者等  
受付期間▶5月16日(金)まで(締切日必着)  
試験日程▶陸:6月9日(月)／海:6月16日(月)／空:6月10日(火)～12日(木)のいずれか1日  
試験科目▶筆記試験(一般教養、作文)、口述試験、身体検査(航空交通管制技能証明「飛行場管制」および航空無線通信士資格保有者は航空身体検査を実施)



# 防災のページ

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎27-2481

## 災害時における食のポイント

災害時など電気・ガス・水道などのライフラインが途絶えた避難生活では、「非常食」などの食事に偏りやすくなり、栄養バランスが崩れて身体や心に影響をおよぼしやすくなります。「非常食」にとどまらず、手に入りやすい食材を活用して、できる限り日常生活に近い食事をとるように心がけましょう。



### 非常備蓄品として備蓄しておくの良いもの

#### ○備蓄食の例

- ・レトルト食品、ドライフーズ、乾麺、切り餅、あめ、せんべい、栄養補助食品
- ・缶詰(肉、魚、フルーツ)、乾物、ホットケーキミックス、スープの素
- ・常温保存できる野菜や乾燥野菜、無洗米、調味料



#### ○備蓄品の例

- ・カセットコンロまたは携帯コンロ、予備のガスボンベや固形燃料、鍋、おたま、キッチンパサミ
- ・ポリ袋、クッキングシート、ラップ、アルミホイル

※食材は定期的に賞味期限や有効期限などをチェックしましょう。  
※家族構成にあわせて、冬の寒さを想定した準備をしましょう。

### 調理や節水の工夫

#### ○調理の工夫

- ・野菜は、あくの少ないものから順にゆでる→同じ鍋が使える
- ・キッチンパサミでカットする→まな板が不要
- ・ポリ袋を使って食材の漬け込みやあえ物に→食器が不要
- ・フライパンにクッキングシートを敷いて使う→洗い物が減少
- ・無洗米の利用→水を節約

#### ○盛り付けの工夫

- ・食器にラップやアルミホイルを敷いて使う、紙で容器を作成する→洗い物が減少

#### ○後片付けの工夫

- ・まな板の除菌には除菌スプレーや酢を活用
- ・ひどい汚れは、紙などでふき取る→水を節約



## 「北の災害食」レシピ集

「北の災害食」は、厳しい冬の避難生活でも健康に過ごすことができる、食の宝庫「北海道」の強みを生かした食事です。避難生活の始まりから、ある程度日数が経った後は、「非常食」ではなく、手に入れやすい食材を活用してつくる、できる限り日常の食事に近い「災害食」が必要とされています。北の災害食レシピコンテストの入賞作品をレシピ集にまとめて、ホームページから見るすることができます。日ごろの備えにご活用ください。



## 住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は2月末時点で全世帯数の93.0%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署は、未設置の住宅への普及・促進の取り組みとして、厚真町に居住する65歳以上のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。

### 春の火災予防運動スタート!

4月20日から4月30日まで、全国一斉に春の火災予防運動が行われます。「守りたい 未来があるから 火の用心」を統一標語に、期間中は車両による広報活動や消防団による夜間巡回広報などを行います。

また、4月10日から5月10日までの期間は無煙期間となっており、全ての揚煙行為は禁止されています。空気が乾燥し、火災が最も発生しやすい時期なので、火の元には十分注意しましょう!



問い合わせ  
胆振東部消防組合  
消防署厚真支署  
☎26-7119



軽舞地区で農業を営む  
Vol.60 ひがしかわ あつし  
東川 忠矢さん

## 地域農業を守り慕われる農家に

亡き父の姿を思い浮かべながら、軽舞地区で農業を営んでいます。不安もありましたが、実績を重ねるうちに時々夢に出て来る父から「これ、やっておいて」と優しく頼まれるようになりました。7年前に結婚し、昨年12月には次男も誕生。一家4人の大黒柱として、水稻をメインに営農に情熱を捧げます。東川さんの自宅を訪ねて話を聞きました。

軽舞地区で生まれ育った東川さんは、物心ついた時から身近に農業があり、「将来は、農家を継ぐんだろうな」と思っていました。数学は得意でしたが公民や歴史が大の苦手。中学3年生のころ、受験対策として着任1年目の社会科の先生に『勉強を教えてください』と直談判しました。「正月明けから約1週間、先生がマンツーマンで個人授業をしてくれました。熱意があって、その先生に憧れ、教師の道に進もう」と決意しました。苫小牧市内の高校に自宅から通学し、卒業後は青森県内の大学に進学しました。

ながら、良品質の作物を育てなさいと教えてくれたのだと思います。今でも9年前に他界した父を思い浮かべます。「自分の甘さに気づかせてくれました。感謝あるのみです」。

3年前、JAとまこまい広域青年部の厚真支部長も経験。水稻18畝や小麦、大豆、ビート16畝を栽培します。苗床の管理は妻にお任せ。お互いに尊重しながら夫婦二人三脚で家庭と育児、営農をこなしています。一家団らの時間を大切にしています。

「あっちゃん」。妻の呼びかけには愛情が込められ、知人からは親しみを込めた愛称で呼ばれています。人に迷惑をかけず、誠実に生きることを家訓にしています。

居間の外に広がる田んぼは、間もなく春耕を迎えます。一年でも神経を使う季節です。

「地域の農業を守り、我が子に『いい仕事だね』って思ってもらえる農家を目指します」

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人・・・  
みんな、みんな、**ATSUMA LOVERS**